

# ヨシでびわ湖を守る ネットワーク通信

VOL.

24



## ヨシ原を散歩するイタチ?

撮影:TO

3月のヨシ原に入ると、“ガサガサ”と枯れヨシを踏む物音が、じつと周囲の様子をうかがうとイタチが歩いているではありませんか。突然の出会いで目が合ってしまう立ち止まったイタチ…静かにカメラを向けシャッターを切ったのですが、あっという間にヨシ原の奥へ逃げ込んでしまいました。体調は40cmを超えていたようで、ふだん田んぼのあぜ道で見るイタチより遙かに大きな体でした。冬のヨシ原で出会えた哺乳類。後で調べて見ると日本には、ニホンイタチとチョウセンイタチが生息しているようで、湖沼・湿地で暮らす解説が書かれていました。さてどちらか?…どちらにせよあまり歓迎されない生き物ですが、妙にかわいくて、…ヨシ原は生物多様性の宝庫にまちがいないと確信しました。

**自慢の自然環境(生物・植物・その他)  
写真をお持ちの方、投稿して下さい。  
皆さんのネットワーク通信への参加を  
お待ちしております。**

### びわ湖を知る ■ 問題

イタチの寿命はどれくらいでしょうか?

- ① 2年くらい
- ② 5年くらい
- ③ 10年くらい
- ④ 20年くらい

# 特集 1ページ

滋賀県立琵琶湖博物館  
専門学芸員  
榎永 一宏 様より



## 湖国から消えたミノムシ

### 【ミノムシは何ムシ】

ミノムシと聞くと枝からぶら下がる姿を想像されることでしょうか(写真1)。名前にムシと付くから何かの昆虫だとは想像できます。好奇心のある方は、藁の中を覗いたことがあるかもしれません。しかし、この藁の中にいる幼虫(写真2)が、親になると何になるかを正確に答えられる人は少ないのではないのでしょうか？実は、ミノムシはミノガ科の蛾の幼虫なのです。

### 【ミノムシが減っている】

秋の季語でもあるミノムシ。皆さんは最近見ましたか？見たと思われる方が見たミノムシは、チャミノガ(写真3)ではないでしょうか。このミノムシの特徴は小枝を密に縦方向に並べた藁で、木の枝に直接藁を斜めにつけます。チャミノガは特には減ってはいません。最近減っているミノムシは、日本最大のミノガであるオオミノガです。このガの藁は、紡錘形で、枝に環状に糸を巻き付けてぶら下がります(写真1)。

### 【なぜオオミノガだけが減ったのか】

オオミノガは20年ほど前から西日本で急速にその姿を消し始めました。館卓司博士らの研究によると、95年の秋に福岡市で採集したオオミノガの藁から、当時は日本で未知のオオミノガヤドリバエが見つかりました。この寄生バエが、オオミノガを減少させたことを突き止めました。このバエは、もともと中国南西部に生息していました。中国北東部の山東省ではオオミノガによる果樹や街路樹の食害被害に困っており、オオミノガの駆除を目的として90～92年にかけて、中国南部から運んだオオミノガヤドリバエによる大規模な放飼実験が行われました。この実験は、オオミノガに対する寄生率が90%近くと非常に高く、オオミノガによる食害を抑えることができました。福岡でこのバエの見つかった時期が95年で、翌年には福岡のオオミノガは壊滅的な状況となったことから、中国で行われた実験後にバエが日本まで飛んできたか、中国でバエに寄生されたミノムシが付着した植物を日本へ輸出したことにより、バエが日本に分布を広げたと考えられています。



写真1：『オオミノガの藁』  
藁は枝に直接付かず糸で結ばれている



写真2：『オオミノガの幼虫』  
左端が頭

# 特集 2ページ

## 【どのように寄生するのか】

オオミノガヤドリバエはオオミノガが食べている葉に産卵します。ミノムシは葉とともにハエの卵を食べてしまいます。食べられた卵はミノムシの体内で孵化して成長し、1匹のミノムシから多いときには70匹ものハエが誕生します(写真4)。すさまじい勢いで、ハエの子孫

が増え続けます。さらに、このハエはオオミノガにしか寄生しません。圧倒的にハエが有利のようです。しかし、オオミノガにも対抗手段があります。雄成虫には翅があり飛べるのですが、雌成虫は翅を持たず幼虫と変わらない姿をしています。これは翅を持たないかわりに、産卵にエネルギーを注ぐためです。そうして、1匹の雌が3,000個もの卵を産みます。雌は自分のミノの中に産卵し、孵化した幼虫は糸を吐き出し、風により分散します。まさに風まかせではありますが、遠く離れた場所にたどり着くことができます。そこが寄生バエに見つからなければ、オオミノガも細々と生き残れるかも知れないのです。

## 【滋賀県では減っているのか】

琵琶湖博物館の参加者制度であるフィールドレポーターにより、2006年と2011年に調査が行われました。2006年の調査では、滋賀県からも調べたオオミノガの35%からオオミノガヤドリバエが確認されましたが、まだハエに寄生されていない健全なオオミノガも存在していました。しかし、2011年の調査ではオオミノガヤドリバエの分布域が前回の調査では見られなかった県北部にも拡大していました。

## 【このまま絶滅するのか】

新天地で天敵が居ないと思われたオオミノガヤドリバエですが、高知県ではオオミノガヤドリバエに寄生するハチが発見されています。最近では、オオミノガの数が少しずつ回復していると、日本の各地からの報告があります。このように、自然界では長い時間をかけて食う食われるの関係が出来上がり、片方だけが増え続けることはありません。生き物の世界には一人勝ちはないようです。しかし、ここに人間の手が加わることにより、いとも簡単に生態系が壊されます。今回のオオミノガと寄生バエの事例は、人の手により非常に短い期間に生態系が激変したもので、人間の自然への介入について改めて考えさせられる出来事でした。



写真3：『チャミノガの藪』  
円筒形で枝に直接付いている



写真4：『オオミノガヤドリバエに寄生された状況(館卓司氏撮影)』  
中央の黒いものが寄生されたオオミノガの幼虫で、  
その周辺の小さい茶色のものがハエの蛹

# ネットワーク 広場



藤井 康平様より

## 兵庫県姫路市の フラワーショップふじよしです。



### 【当店のご紹介】

世界遺産の姫路城から自動車ですぐ北西へ十数分ほど、住宅地を通る幹線道路沿いにて、約30年にわたり商売を続けてきました。家族経営の典型的な“パパママショップ”で、接客・仕入れはもちろん、商品である植物の水やりや剪定、植え替え等々の仕事に追われる毎日です。

### 【ネットワーク会員となったきっかけ】

5年ほど前、長浜市で毎年開催される「びわ湖環境ビジネスメッセ」に、前回本欄で紹介されたスミ利文具店様(同じ藤井姓ですが身内ではありません)と訪れた際、出展されていたココヨ滋賀様からネットワーク会員に入室するよう言葉巧みに(?)誘われたことが始まりです。以来、少なくとも年に1度はヨシ刈り等各種イベントに駆り出さ…もとい、参加し、加えて私も店主である父も「ヨシ名刺」を使っています！

### 【お城だけじゃない姫路の注目スポット】

ところで、こちらには姫路城の他にも興味深いところやものがたくさん。市の北西部の書写山圓教寺は「西の比叡山」といわれる名刹。また市内ではかつての城下町を偲ばせる古い町家やお寺が残る地区、さらには昭和の時代感を今に伝える遺構も多く見られます。そんな“ちょいレトロ”遺産なら、まずは姫路城そばの動物園がおすすめ。動物たちの脇にある観覧車やティーカップなどの遊戯施設は、ある程度以上の年代の方にはとても懐かしく感じられるはず。また郊外の手柄山中央公園に建つ展望台は“レトロフューチャー”な建築物として人気でしたが、残念ながら老朽化のため数年以内での廃業が決まってしまいました。興味湧いた方は早めの訪問を。

### 【兵庫県人から見た滋賀】

上に記したようなご縁で、滋賀県へ年数回は訪れています。保守的な気風の播州地方(兵庫県南西部)出身の私たちが感心し、かつ見習うべきは、滋賀の皆様が宿る旺盛な進取の気性でしょう。例えば長浜市の商店街にフィギュアの博物館があったり、「フレンチプレス」という珍しい方式でコーヒーを入れるレストランがあったり…さらには冒険心豊かな経営者や社員が率いる滋賀発のベンチャー企業など見聞きするたび、いち経営者としておおいに刺激を受けます。そういえばココヨ滋賀様の「リエデン」ブランドも、滋賀の方々のそうした気質と琵琶湖とその周辺環境を守ろうという思いから生まれ、支持されているのでしょう。それに滋賀行きの電車の車窓に広がる琵琶湖や山々の雄大な稜線、広々とした田園風景も楽しみです。また美味しい食べ物やお酒もたくさん。というわけで今やすっかり滋賀ファンになりました！今後ともよろしく願います。



『昭和の雰囲気ただよう町並み』



『手柄山中央公園内の展望台』

# ネットワーク アルバム

◆◆ 祝 20回を超えたヨシ刈りボランティア ◆◆  
延べ2760名が参加

## 西の湖ヨシ刈りボランティアの様子



**2月6日 参加22社：190名**

朝から晴天、青空の下多くの方がヨシ原保全に汗を流していただきました。  
この日は、大学生も多数参加されヨシ原は大いに賑わい、産学の協働となりました。  
作業の後のトン汁で疲れも癒やされ、心地よいボランティアとなったことでしょう。



**3月5日 参加11社：84名**

残念なことに2月20日第二弾は雨天でやむなく順延。  
改めて開催した日は3月に入ってしまった。そのため  
か参加者が大幅に減ってしまい少数精鋭で・・・  
やっぱり3月、気温はぐんぐん上がり暑さとの戦いで皆さん  
少々バテ気味だったようです。でも、ヨシ刈りは澄み  
切った冬の晴天のもとで汗を流すのが一番ですね。

環境保全是、地味な活動です。  
大切なのは、継続することだと思います。  
皆さん、来シーズンも宜しくお願いします！

### びわ湖を知る ■ 解答

① 2年くらい

1.4~2年と非常に短命で、生後2~3ヶ月  
で成獣と同じ体重になるそうです。

みんなの  
リエデン

びわこ文具

Let's enjoy  
Lake Biwa!

びわこ文具に **歴史もの** が  
新たに仲間入り!



面と向かってはなかなか言えない  
秘めた想いを五・七・五・七・七の  
短歌にのせて届けましょう♪

忍者ふせん(忍び刀)

各  
¥350  
(税抜)



3柄:「忍者(忍び刀)」「  
鞆(さや)」「刀」  
各20枚

刀にメッセージを書いて  
上から鞆ふせんを  
貼れば密書に!?

忍者ふせん(手裏剣)



3柄:「忍者(手裏剣)」「  
手裏剣1」「手裏剣2」  
各20枚

台紙を折ると、巻物の  
ような簡易的な卓上  
ふせんスタンドに。

歌かるた箋

¥250  
(税抜)

百人一首の読み札をもとに  
デザインした小さな便箋です。

16枚入り(殿7・姫7・坊主1・無人1枚)



誰もいない畳だけの「無人」には、  
あなたオリジナルのイラストを添えて!

NOW ON SALE!!!